

[02]韓国研究センター年報

<https://hdl.handle.net/2324/2198487>

出版情報：韓国研究センター年報. 2, 2002-03-15. Research Center for Korean Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

symposium

シンポジウム 1 日韓産業経済圏と九州経済

九州大学韓国研究センター開設記念国際シンポジウム2001「日韓産業経済圏と九州経済」は、韓国国際交流財団による日韓学術共同研究助成事業の2001年度プログラムとして、2001年12月1日に九州大学国際ホールにて開催された。共催は、九州大学韓国研究センター、同経済学研究院、同農学研究院、財団法人アジア太平洋センターや財団法人国際東アジア研究センター、九州経済調査協会、そして韓国経済研究会であった。

最近のグローバリゼーションと呼ばれる国際化は、首都圏を介さず直接に、しかも即座に、地域の産業経済に影響を与えるという問題意識の下に、日韓産業経済圏の形成と九州地域への影響について検討を試みた。記念講演は猪俣弘司（在韓国日本大使館経済担当公使）、基調講演は鄭英一（ソウル大学校社会科学大学経済学部教授）が行った後、山崎朗（九州大学経済学研究院教授）、オレクサンダー・モブシュク（九州大学経済学研究院アジア連携講座客員助教授）の4氏によって行われた。

以上の研究報告に対して、清水一史（九州大学経済学研究院助教授）、甲斐諭（九州大学農学研究院教授）、高木直人（九州経済調査協会調査研究部長）、石田修（九州大学経済学研究院助教授）、川本忠雄（下関市立大学教授）、持田勲（九州大学機能物質科学研究所教授）、桜井浩（久留米大学経済学部教授）の7氏からのコメントが加えられた。司会は、深川博史（経済学研究院助教授）が行った。

シンポジウム当日は、全国から専門家が参加したのみならず、学生や市民も多数参加して、活発な質疑応答が行われた。本シンポジウムに対する、学内外からの関心の高さを実感させるものであった。

